

NTT持株会社前、ストライキ突入集会に、早朝からのご参加ありがとうございます。

JMI TU通信産業本部は、昨年の秋年闘争から交渉を積み重ねている要求や、今春闘にNTTグループ労働者から寄せられた、「切実な要求や多くの声」をもとに作成した、18春闘要求書を2月21日に、主要グループ5社とグループ子会社13社に提出してきました。

3月6日から14日を、要求解決への集中交渉期間と位置付け、生活防衛に最低必要な、2万5千円以上の賃金引上げ要求と、60歳超え労働者や非正規雇用労働者への、時給250円以上の引き上げと同時に、不透明な評価による、格差拡大ではない、実質賃金の引き上げと、全ての労働者の均等待遇などの、要求実現を求めて、集中した交渉を行ってきました。

しかし、NTTグループ各社は、この間の団体交渉において、「経営状況は依然として厳しい」、「財務状況や事業見通しを、総合的に勘案し慎重に検討している」などとする「実質ゼロ回答」に終始し、組合員の切実な要求に対し、一切有額回答を示そうとはしませんでした。

昨日、大手企業の集中回答日に示された、NTTグループの回答は、グループ8社には「昨年より400円上積み、一人平均1,800円の引き上げ回答」で、「ベースアップ分として、資格賃金を700円引き上げ、残り平均1,100円分は、評価部分となる成果手当の引き上げ」という回答であり、昨年よりわずか0.2%程度の増額だけという、今年も低額回答です。

地域会社等のグループ子会社には、本体会社より低い「昨年より280円だけ上積んだ、1人平均1,260円で、ベースアップ分となる資格賃金へは、わずか490円、評価部分となる成果手当には、1人平均770円を上げる」というもので、本体会社より3割近く減額されている、地域会社社員の生活実態を無視した、さらに低い超低額回答です。

また60歳超え労働者には、今年も時給制との格差を拡大する、「月給制にだけ、特別手当への評価部分に5,000円から18,000円を上積み」という差別回答で、時給制で働く労働者の切実な要求にも、厳しい生活実態すら見向きもしないという不当な回答です。

NTTが示した、2017年3月期の連結決算は、営業収益が実質700億円増、営業利益は1,916億円の増収で、当期純利益は、昨年の過去最高益を、更に更新する8,001億円となり、内部留保は、前年に6,363億円を上積み、当期では4,626億円も上積みで、10兆2,392億円にまで溜め込みを、大幅に増額をさせています。

更に、今年2月に示された、3/四半期の連結決算は、2/四半期に続く「増収・増益」決算で、「営業収益、営業利益、当期純利益」の全てが、過去最高額だと発表しており、年間営業利益は「業績予想を超えて、1兆6千億円の大台に乗せられる」との考えを示すことができる経営状況です。

しかも、株主には、毎年必ず増額配当を行ないながら、自己株取得を2015年と16年で、4,317億円、今年度には1,932億円もの取得が、行なえるほどの、ゆとりを持った経営が今のNTTです。

この超優良の経営実態を見て、「経営状況が厳しく、財務に不安がある」と、誰が認識するのでしょうか、誰が同調して、闘いの矛先を納められるのでしょうか、この様にNTTが、率先して社会的責任を果たさず、実質賃金の低下に手を貸し、労働者に背を向け「更に格差拡大だけに目を向けた、0.7%程度の超低額回答」では、到底、納得できるものではありません。

株主配当と役員への報酬だけは、毎年大幅に増額させながら、NTTグループに働く労働者の、生活防衛要求にすら背を向ける、横暴な経営姿勢は、断じて許すことはできません。

その上、NTT東日本や西日本では、改正高年法の基本主旨を守らず、本人が希望しても「60歳からの継続雇用」を一方的な選別で、雇用しないという、労働者選別まで行なっています。

さらに、自社の非正規雇用労働者には、労働契約法で示された、無期雇用転換権を奪う、3年や5年での「選別雇い止め」という、脱法行為まで行なわせているのが、グローバル企業であり、世界のトップ企業を目指しながら、世界に恥ずべき違法行為を平然と行なうNTTです。

NTT持株会社を中心としたNTTグループは、このように労働者の雇用と生活に、まともに向き合わず、責任を持つていません。

NTTグループは、日本のトップ企業としての責任を自覚し、満額のベースアップ回答をもって、労働者に応えることを強く要求し、生活防衛にすら届かない、低額・差別回答の打開を求めて、本日、全国31カ所のNTTビル前で、全国の仲間の支援を受け、ストライキ突入集会を実施している全国の仲間とともに、要求実現にむけて、たたかい抜くことを申し上げ、JMITU通信産業本部を代表しての、あいさつとさせていただきます。ともに頑張りましょう。